



山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41
TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699
URL:<http://www.mokusankyo.jp>
E-mail:yamawood@mokusankyo.com

目次

1. MOCT ION東京に出展!!
2. 森林の仕事ガイダンス 出席!!
3. 山銀米沢支店にて広葉樹材展示会!!
4. 県産木材輸出検討会開催!!
5. 2020年次の全国住宅着工数1割減!!
6. 全木連等林野庁関連事業県内報告



1 MOCT ION東京に出展!!

東京都は、木材の大消費地である東京でのさらなる木材利用の拡大に向け、都市やオフィスの木質化を進める「国産木材の魅力発信拠点MOCT ION (モクシオン)」を新宿パークセンターOZONEの5Fに昨年12月3日開設しました。

国産木材の活用に積極的な建築家・隈研吾氏を館長に迎えたこの施設は、東京都をはじめ様々な地域の国産材を紹介し、新たなオフィス空間など都市部での活用方法を提案していきます。「都市と森の関係」をコンセプトに、設計、展示プロデュースを建築家・宮崎晃吉氏と共に提案しています。館内にはオフィス木質化を訴求するためのコンセプト家具を展示スペースに設け、体験の場として来館者がコワーキングスペースとしても利用できるようにしています。また、国産木材の展示スペースを全国の道府県に活用いただき、各地域と東京を結ぶ商談の機会を広く提供します。これにより、全国各地の木材利用促進、さらに森林循環へと繋げていきます。企画展として、これまで12月に高知県、栃木県、1月に和歌山県が展示しており、山形県は2月4日から16日までの展示となります。



山形県では、「県産広葉樹材等の展示」を県主催のイベントとして木産協が支援しております。コロナ禍でもあり、会場設定等は東京都MOCT ION事務局に全面協力いただき、本県からは展示物やパンフレット等を宅配便で送り展示しています。場所は、東京都庁の近接地ですので、機会がありましたらご来場くださるようご案内いたします。

2 森林の仕事ガイダンス in やまがた出席!!

1月22日山形ビッグウイングにて、「令和2年度森林の仕事ガイダンス in やまがた」が(公財)山形県みどり推進機構(県林業労働力確保支援センター)主催で開催された。木産協からも7企業が参加し、訪れた一般参加者13名、県立農林大学校13名に対し、それぞれが自社PRや林業・木材産業の魅力について説明し、質問や相談等に対応した。机上スクリーン設置・手指消毒等コロナ対策も徹底した。



3 山形銀行米沢支店ロビーにて広葉樹材展示会開催!!

12月1日から年が明けて1月14日まで山形銀行米沢支店ロビーにて県産広葉樹材展示会が開催された。昨年に続き2回目の開催で、来店者だけでなく行員の方々も興味を持っていただいたようだ。展示品は県産広葉樹材（ブナ、ナラ、サクラ、クリ、ホオ、オニグルミ等）を中心に、フローリング材や食器等木工品、積み木等玩具などを展示した。



を展示した。

コロナ禍での県産木材普及事業の今後の在り方・方向性を示したイベントと考えている。人との接触を避けるため、対面式の説明を大型パネル展示を採用し、興味を持った来場者に図・表・写真で解説している。県庁ロビーや村総ロビーでも実施している。

ナ禍での県産木材普及事業の今後の在り方・方向性を示したイベントと考えている。人との接触を避けるため、対面式の説明を大型パネル展示を採用し、興味を持った来場者に図・表・写真で解説している。県庁ロビーや村総ロビーでも実施している。

4 県産木材輸出検討会開催!!

1月13日酒田木材工業団地協同組合会議室において、木産協酒田飽海支部有志による県産木材輸出プロジェクト意見交換会を開催した。昨年度から検討している輸出事業の準備を前提に、掛かり増しする部分の洗い出しや県や市への支援要請内容等を確認した。コンテナ船がコロナ禍の影響を受けて不定期ではあるが、素材生産、加工、乾燥等が整ったところで試験輸出を商社に対し要請していく。



5 2020年次の全国住宅着工数1割減 (関連記事6面に掲載)

	1~12 戸	前年比%
新設住宅計	815,340	90.1
持ち家	261,088	90.4
貸家	306,753	89.6
給与住宅	7,231	113.0
分譲住宅	240,268	89.8
木造住宅	469,284	89.7

国土交通省は29日、2020年次の通年新設住宅着工数は81万5340戸（対前年比9.9%減、8万9783戸減）と発表した。これは4年連続の減少で、6年ぶりの90万戸割れとなった。リーマンショック後の81万3126戸に次ぐ10年ぶりの低水準である。

持ち家は261,088戸（9.6%減）で27,650戸減となり、この数値はリーマンショック時でも28万戸を維持しており、過去50年間で最低を記録した。

貸家は306,753戸（10.4%減）で35,536戸減と3年連続で減少し、約10年ぶりの低水準となった。給与住宅（社宅等）は7,231戸（13.0%増）832戸増で、分譲住宅は240,268戸（10.2%減）で27,428戸減となった。新設着工数のうち、木造住宅は469,284戸（10.3%減）53,887戸減となり、木造率は57.6%となった。ちなみにマンションは107,884戸（8.4%減）9,919戸減と5年ぶりに減少した。

2008年のリーマンショックにより総着工数は百万戸を42年ぶりに割ったが、今回はさらに床面積の広い持ち家が約26万戸まで減少したため、木造床面積も09年並みとなった。

6 全木連等林野庁関連事業県内報告

令和2年度林野庁補助事業（受託者：全木連・全木協等）の締め切りが2月中旬等に迫っている。JAS構造材実証支援、外構部の木質化実証支援、過剰木材在庫利用緊急対策、輸出原木保管等緊急支援、木質耐火部材等利用促進の5大事業である。

- ① JAS構造材個別実証支援事業 2社 助成金合計 6,700,000円
 - ・申請者 (株)クリエイト礼文 山形市八日町地内 賃貸住宅新築工事、
 - ・申請者 日本住宅(株) 天童市中里地内 賃貸住宅新築工事
- ② 外構部の木質化実証支援事業 6社 助成金合計 2,700,000円
 - ・申請者 丸櫻建成(株) 天童市糠塚地内 木塀工事
 - ・申請者 丸櫻建成(株) 天童市柏木地内 木塀工事
 - ・申請者 和興建設(株) 南陽市二色根地内 木塀工事
 - ・申請者 (株)本多建設 米沢市林泉寺地内 木塀工事
 - ・申請者 和興建設(株) 南陽市二色根地内 ウッドデッキ工事
 - ・申請者 (有)グッドライフ黒田工務所 山形市上東山 ウッドデッキ工事
- ③ 過剰木材在庫利用緊急対策事業 6社 助成金合計 73,100,000円
 - ・申請者 (株)加藤住建 山形市成沢地内 成沢公民館新築工事
 - ・申請者 第一建設工業 飯豊町手ノ子地内 米坂線手ノ子駅舎新築工事
 - ・申請者 榮大建設(株) 山形市柏倉地内 西山形コミュニティセンター新築工事
 - ・申請者 (株)殖産工務所 米沢市太田町地内 セブンイレブン店舗新築工事
 - ・申請者 (株)ヤマムラ 新庄市鳥越地内 福祉施設くれよんはうす新築工事
 - ・申請者 丸ト建設(株) 白鷹町荒砥地内 荒砥地区防災倉庫整備工事
- ④ 輸出原木保管等緊急支援事業 3社 助成金合計 22,000,000円
 - ・申請者 山形県森林組合連合会
保管場所6か所（上山、最上町、舟形町、白鷹町、小国町、酒田市）
 - ・申請者 金山町森林組合 保管場所2か所（金山町朴山、同町金山）
 - ・申請者 日本製紙(株) 保管場所（酒田市北浜）
- ⑤ 木質耐火部材等利用促進事業 当事業は申請無し。

7 日本百名山シリーズ紹介（祖母山）

九州大分・宮崎・熊本県に跨る祖母山(1,756m)。温泉王国大分県のガニの湯等で有名な長湯温泉(竹田市)に泊まり、荒城の月モデルという岡城址石垣を見学し、東洋のナイアガラと呼ばれる原尻の滝(豊後大野市)を通過し、宮崎県高千穂町の北谷登山口に着く。平家の落人伝説が伝わる集落が点在し、アクセスの道幅も狭く公共交通機関は皆無のため、レンタカー移動が必須である。また、登山道も



九州の山らしく火山の花崗岩の岩場を登るコースで、ロープや鎖場もあり、雨の日であれば迷わず迂回コースが無難である。また、この山一帯は国定公園に指定されており、カシ類などの照葉樹原生林やシャクナゲの中を気持ち良く歩くことになり、落葉樹の多い東北とは大きな違いを感じる。山頂からは、北に久住連山、西に阿蘇五山、南に岩尾根が続く傾山が連なり、九州の真ん中にいることを実感できる。下山後は近くの高千穂峡を廻り、天孫降臨神話の国を散策した。

8 お知らせ (イベント案内)

令和2年度林野庁補助事業

医療施設・福祉施設 木材利用普及促進シンポジウム

木を活かした医療施設・福祉施設 「施設を作ろうとされている建築主、設計者の方々へ」

2月24日水曜日
13:30 ~ 15:30

WEB開催
【無料】【事前申し込み】



建築主向けパンフレット

『木を活かした医療施設』『木を活かした福祉施設』
(左開きから医療施設、右開きから福祉施設)

※資料のダウンロードにつきましては、ご登録の後、
お知らせいたします。

- 13:40 ~ 14:30
5名の研究者と設計者による講演
- 14:40 ~ 15:10
パネルディスカッション
- 15:10 ~ 15:30
質疑応答 (Zoom チャットに寄せられた、
視聴者からの質問にお答えします。)

■ 講演者・パネリスト

- 石井敏 (東北工業大学教授)
- 三浦敏明 (株式会社山下設計東京本社)
- 森一晃 (株式会社竹中工務店)
- 大井幸次 (大久手計画工房)
- 山口健太郎 (近畿大学教授)
- 加来照彦 (株式会社現代計画研究所)

中大規模木造、特に医療施設・福祉施設を中心としたWEBシンポジウムです。『医療・福祉施設木材利用普及検討』(林野庁補助事業)の3年間にわたる事業のまとめとして作成した事業者向けのパンフレットのご紹介と、講演並びにパネルディスカッションを行います。



事前登録用URL https://tkp-jp.zoom.us/webinar/register/WN_Cw47UEmiSgaecMCHGaiXeA
問い合わせ 一般社団法人木を活かす建築推進協議会 message@kiwoikasuu.or.jp
当日 (2/24) 対応窓口 TEL 090-6514-7670 ※

※当日、ウェビナー開始2時間前からのみ使用が可能です。時間外に頂いたお電話はご対応致しかねますので予めご了承下さい。

主催：一般社団法人木を活かす建築推進協議会

9 新刊図書案内



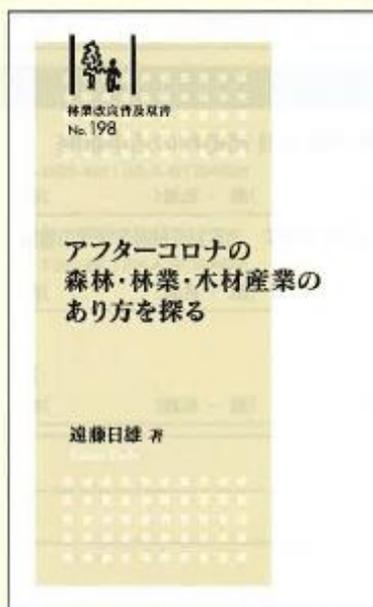
林業改良普及双書 No.198

◆全林協の図書案内◆

✓アフターコロナの

森林・林業・木材産業のあり方を探る

アフターコロナによる影響を把握し、その“先”を読む視点を探る



アフターコロナの
森林・林業・木材産業の
あり方を探る

遠藤日雄 著

遠藤日雄 著

ISBN978-4-88138-398-8

新書判 136頁

定価1,452円 本体1,320円

著者 遠藤日雄 / えんどう けいお

1949年北海道生まれ。森林総合研究所・林業経営/政策研究領域チーム長、鹿児島大学教授を経て、現在、NPO法人 活木活木(いせいせい)ネットワーク理事長、高知県立林業大学校特別教授。

主な著書に「林業改良普及双書No.141 スギの行くべき道」、「丸太産地の復活はなぜ起こるか 原因とメカニズム、その対案」、「複合林産型」で創る国産材ビジネスの新潮流」、共著で「林業改良普及双書No.179 スギ大径材利用の課題と新たな技術開発」、「林業改良普及双書No.180 中間土壌の役割と機能」(いずれも全林協)、豊田治之・遠藤日雄編著「新・国産材産地」時代の木材産業」(大日本山社会)など多数。

※お申し込みは裏面をごらんください

2019(令和元)年11月末に発生したといわれる新型コロナウイルス感染症。瞬く間に全世界に広がり、終息の見通しがつかない状況が続いています。

コロナショックによる需要減退により、日本の森林・林業・木材産業がどのような影響を受けているのか、そしてどうなっていくのか。著者・遠藤日雄先生が独自のネットワークを駆使し、林業・木材産業に及ぼしている現況を整理し、わかりやすく解説しています。

コロナショックのその“先”を読み取る視点を探り、林業・木材産業の今後の課題を明らかにしていくための考え方やヒントが示されています。

目次の一部

はじめに―本書の目的と構成

第I部 コロナショックの現状の整理

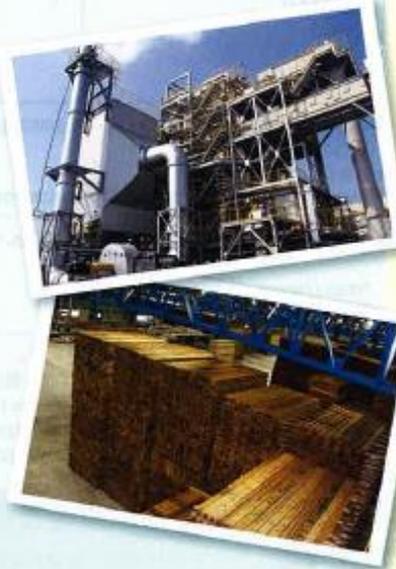
- ・コロナショックで住宅竣工戸数は70万戸に激減
 - ―住宅需要減へのダメージ
- ・“複雑な真相”を示すプレカット
 - ―プレカット業界に与えたダメージ
- ・イベントの中止や飲食店の営業短縮が需要減に
 - ―製品流通業へ与えたダメージ
- ・製材品は生産量、出荷量とも減少
 - ―製材業に与えたダメージ
- ・チップ業は数値と木質バイオマスで明確
 - ―チップ業界に与えたダメージ
- ・原木需給は出材量が減る一方で価格も下落
 - ―原木需給に与えたダメージ
- ・国産材丸太輸出は「V字回復」ほか

第II部 アフターコロナの森林・林業・木材産業を考える

- ・2x4住宅へ国産材参入のチャンス
- ・非住宅部門にはセネコンが参入、これとかが連携するかが課題
- ・広葉樹見直しの必要性
- ・FIT終了後の新たな木質バイオマス利用に向けて
- ・ますます重要な役割を果たすプレカット
- ・海外需要開拓が急務
- ・儲かるスギフェンス製材のビジネスモデルとは?
- ・国有林と森林組合の連携で6割の丸太供給調整可能
- ・素材のシステム(協定)販売を利用した生産調整の可能性
- ・コロナショック支援策の現場への周知
- ・サプライチェーンマネジメントの整備拡充が急務の課題 ほか

第III部 アフターコロナをマクロに考えるために

- ・時代に変化をもたらすパンデミックの歴史
- ・「人口減少」「高齢化」「資本主義」「民主主義」がキーワード
- ・資本主義の基本はモノづくり
- ・中間層形成の基盤は日本独特の共同体
- ・森林を基盤とした21世紀の新たなモノづくりほか



10 住宅着工状況

令和2年12月期の県内新設住宅着工戸数は356戸となり、対前月比93.7%、対前年同月比80.4%、2020年次累計比は87.0%となり、何れも減となった。全国的にも1割減で推移しており、コロナ禍では健闘している方だ。市町村別では東根市・鶴岡市が奮闘中。

1 県内新設住宅着工戸数(令和2年12月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
22年	4,125	2,533	1,140	40	412	3,777	348	3,319	80.5%	2,479	112	728
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28年	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
29年	5,516	2,976	1,837	50	653	5,473	43	4,661	84.5%	3,366	98	1,197
30年	6,362	3,160	2,322	25	855	6,039	323	5,015	78.8%	3,367	128	1,520
31年	5,755	2,776	1,907	27	1,045	5,686	69	4,697	81.6%	3,358	110	1,229
12月	443	216	119	0	108	438	5	386	87.1%	292	8	86
31.1月~12月	5,755	2,776	1,907	27	1,045	5,686	69	4,697	81.6%	3,358	110	1,229
02.1月	220	105	66	0	49	219	1	191	86.8%	143	5	43
2月	425	209	158	1	57	424	1	352	82.8%	204	13	135
3月	414	281	74	0	59	410	4	388	93.7%	295	6	87
4月	543	295	185	0	63	528	15	489	90.1%	328	12	149
5月	367	233	77	1	56	364	3	326	88.8%	264	5	57
6月	456	292	92	0	72	447	9	412	90.4%	329	8	75
7月	456	251	118	0	87	451	5	416	91.2%	304	4	108
8月	540	296	201	3	40	534	6	480	88.9%	304	10	166
9月	407	260	86	1	60	401	6	366	89.9%	289	7	70
10月	441	268	116	0	57	433	8	412	93.4%	314	9	89
11月	380	247	81	1	51	371	9	332	87.4%	262	3	67
12月	356	202	84	0	70	353	3	316	88.8%	223	5	88
対前月比	93.7%	81.8%	103.7%	0.0%	137.3%	95.1%	33.3%	95.2%	-	85.1%	166.7%	131.3%
対前年同月比	80.4%	93.5%	70.6%	-	64.8%	80.6%	60.0%	81.9%	-	76.4%	62.5%	102.3%
31.1~当月計	5,755	2,776	1,907	27	1,045	5,686	69	4,697	81.6%	3,358	110	1,229
02.1~当月計	5,005	2,939	1,338	7	721	4,935	70	4,480	89.5%	3,259	87	1,134
対累計前年比	87.0%	105.9%	70.2%	25.9%	69.0%	86.8%	101.4%	95.4%	-	97.1%	79.1%	92.3%

2 地域別新設住宅着工戸数(令和2年12月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	356	5,005	80.4%	87.0%	4,480
山形市	90	1,345	57.0%	71.4%	1,093
上山市	10	96	125.0%	88.1%	92
天童市	40	460	129.0%	102.9%	419
山辺町	5	52	125.0%	88.1%	49
中山町	9	44	900.0%	88.0%	35
東南村山	154	1,997	76.2%	78.3%	1,688
寒河江市	20	270	100.0%	108.0%	266
河北町	3	70	75.0%	155.6%	70
西川町	0	1	-	20.0%	1
朝日町	0	12	-	300.0%	11
大江町	2	14	-	70.0%	14
西村山	25	367	104.2%	113.3%	362
村山市	2	55	200.0%	77.5%	53
東根市	35	520	59.3%	138.3%	443
尾花沢市	2	28	-	75.7%	26
大石田町	0	16	-	800.0%	16
北村山	39	619	65.0%	127.4%	538
村山地域	218	2,983	76.2%	88.8%	2,588
新庄市	6	108	75.0%	57.4%	107
金山町	0	3	-	50.0%	3
最上町	0	12	-	200.0%	12
舟形町	1	17	25.0%	141.7%	15
真室川町	0	13	-	260.0%	12

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	0	3	0.0%	37.5%	3
鮭川村	0	7	-	116.7%	7
戸沢村	0	0	-	0.0%	0
最上地域	7	163	53.8%	68.5%	159
米沢市	28	296	155.6%	52.6%	267
南陽市	13	155	216.7%	110.7%	138
高畠町	1	97	50.0%	96.0%	94
川西町	3	30	-	44.8%	28
東南置賜	45	578	173.1%	66.4%	527
長井市	3	157	13.6%	126.6%	154
小国町	0	14	0.0%	107.7%	13
白鷹町	2	28	100.0%	93.3%	28
飯豊町	1	21	33.3%	110.5%	21
西置賜	6	220	21.4%	118.3%	216
置賜地域	51	798	94.4%	75.5%	743
鶴岡市	44	538	112.8%	111.4%	495
三川町	2	31	-	91.2%	30
庄内町	7	54	350.0%	88.5%	52
田川	53	623	129.3%	107.8%	577
酒田市	24	410	49.0%	82.0%	388
遊佐町	3	28	-	121.7%	25
飽海	27	438	55.1%	83.7%	413
庄内地域	80	1,061	88.9%	96.4%	990

注:累計は令和2年1月~